



ネイティブ・スピーカーがチェック! Jamieの英語ひとくちカウンセリング



日本の『あるある英語表現』

Jamie Reed (ジェイミー・リード) アメリカ、ペンシルバニア出身。英会話講師。クラブエールの2時間英会話クラスその他、大手英会話スクールで企業や個人向けのクラスを担当。雑誌や教科書編集の英文コピーライター、英文校正者としても活躍。旅行マガジン「JTBるるぶ」に英文記事を連載中。得意の料理やヨガを英語で教えるワークショップも開いており、東京在住の人気外国人講師として雑誌などに随時登場。

街中の表示や、日本人の方の間違いやすい英語表現をいくつかとりあげました。

Case 1 『私はフリーライターをしています。』

✖ I'm a free writer.



○ I'm a freelance writer.

日本語で言う「フリーライター」は英語で言えば“freelance writer”です。“freelance”(フリーランス)はひとつだけの企業に雇われるのではなく、いろいろな会社や団体に仕事をすることです。英語で、“free writer”と言ってしまうと、無料で執筆する人なのか、もしくはライティング(執筆)内容や形式、文章スタイルなどに制約のない人のように聞こえてしまいますので注意しましょう。

Case 2 『フリーダイヤルはありますか?』

✖ Do you have free dial? → ○ Do you have a toll-free number?



かける側も受ける側も双方がSKYPEならば無料で通話できますが、電話回線で通話する場合は通常は料金がかかります。電話料金がからない電話番号のことを日本語では「フリーダイヤル」と言いますが、これは和製英語で、英語では“toll-free-line”と言うのが正解です(“toll”はもともと「長距離通話料金」の意味)。

英語で「フリーダイヤルで彼らに電話しました。」というときには、“I called them toll-free.”もしくは、“I made a toll-free call to them.”と言います。企業などにフリーダイヤルがあるかどうかで尋ねるのであれば、“Do you have a toll-free number?”(御社のフリーダイヤルはありますか?) “Yes, we do. Our toll-free number is XXX-YYY-ZZZZ.”(はい、ございます。フリーダイヤルはXXX-YYY-ZZZZです)となります。

Case 3 『会議の前にプリントを提出してください。』

✖ I need your prints before the meeting.



○ I need your handouts before the meeting. もしくは
I need your printouts before the meeting.



日本語の「プリント」は「印刷物」のことですが、英語では“copies”、“documents”、“papers”と言い、クラスや会議で使う印刷物の場合は“handouts”(配布物)と言います。

英語の“print”という言葉は「プリント」ではなく、“fingerprint”(指紋)の略語か、現像した写真のことをさす場合が多いのです。

1) 「指紋 “fingerprint”」を意味する場合
 (“fingerprint”=指紋の省略語が“print”)

〈例〉 The police officer took the fingerprints of

the suspect, but they didn't match the ones found at the crime scene.”

(警察官は容疑者の指紋をとったが、その指紋は犯罪現場で見つかったものとは一致しなかった。)

2) 「現像された写真」を意味する場合

〈例〉 I gave the developer my negatives and he said they will have my prints ready tomorrow afternoon.”

(私が現像業者にネガを渡したら、現像写真は明日の午後にはできあがると言った。)

(PHOTO) 写真AC